

平成22年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成23年3月8日 沖縄県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	幸喜 令信 野崎 四郎 城間 貞 有住 康則 小那覇 涼子 真喜屋 治 小那覇 涼子	
審議対象期間	平成22年8月1日 ~ 平成22年11月30日	
再苦情処理件数	件数 0件	(備考)
入札審議件数	総件数 618件	
一般競争入札	175件	
指名競争入札	366件	
随意契約	77件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	なし

**平成22年度第3回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会  
抽出事案一覧**

<b>一般競争入札</b>			
	工事名	工種	担当課・所
①	瀬底大橋橋梁耐震補強工事(H22-1)	土木一式工事	道路管理課
②	石垣市第5地区耕土流出防止工事	土木一式工事	八重山農林水産振興センター
③	儀間ダム管理橋下部工工事	土木一式工事	沖縄県ダム事務所
④	雄樋川地区貯水池工事(22-2工区)	土木一式工事	農地水利課

<b>指名競争入札</b>			
	工事名	工種	担当課・所
⑤	宜野湾浄化センター管廊建築電気設備工事E10	電気工事	下水道建設事務所
⑥	新牧港幹線污水管更正工事(1工区)	管工事	下水道管理事務所
⑦	カビチ地区土砂崩壊防止工事	土木一式工事	北部農林水産振興センター
⑧	喜屋武第3地区ほ場整備工事	土木一式工事	南部農林土木事務所
⑨	浦添工業高校管理棟及び産振A棟改造防音工事(建築)	建築一式工事	施設建築課

<b>随意契約</b>			
	工事名	工種	担当課・所
⑩	伊良部大橋関連建設環境整備工事(その4)	土木一式工事	宮古土木事務所

## 平成22年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回 答
<p><b>Q 1</b> 「瀬底大橋橋梁耐震補強工事（H22-1）」で、入札した日と開札した日が異なりますが説明をお願いします。</p>	<p><b>A 1</b> 沖縄県では談合などの不正防止を図るため、順次電子入札の導入拡大を図っていますが、電子入札における入札及び開札日については、通常、2日間の入札期間を設け、3日目に開札を行うという形をとっているため、入札日と開札日が異なっています。</p>
<p><b>Q 2</b> 「瀬底大橋橋梁耐震補強工事（H22-1）」と「石垣市第5地区耕土流出防止工事」に総合評価方式を適用した経緯や条件を説明してください。</p>	<p><b>A 2</b> 沖縄県では、入札、契約手続きの透明性や公共工事の品質の確保を図るため、総合評価方式一般競争入札の導入拡大を図っており、土木建築部では原則、設計金額5千万円以上の工事に適用することとしています。</p>
<p><b>Q 3</b> 「雄樋川地区貯水池工事（22-2工区）」に総合評価方式を適用しなかった理由を説明してください。</p>	<p><b>A 3</b> 農林水産部では現在、総合評価方式を試行的に実施している段階であり、平成20年度は3件、平成21年度は9件、平成22年度は20件の工事に総合評価方式を適用しました。 今後、同制度の周知や試行を重ね、徐々に適用工事件数の拡大を図っていくこととしています。</p>
<p><b>Q 4</b> 「石垣市第5地区耕土流出防止工事」の入札結果で低入札調査基準価格未満の入札を行った業者のほとんどが追加資料提出辞退となっていますが、その要因としてどのようなことが考えられますか。</p>	<p><b>A 4</b> 失格基準価格以上、低入札調査基準価格未満の入札を行った者については、施工体制確認のため、開札後、速やかにヒアリングを実施することとしており、追加資料の提出を求めています。 当該審査は、工事の品質確保を図る観点から、多くの項目について、厳重かつ詳細な審査を行うこととなります。 調査対象業者においては、その様な審査の状況や内容を検討し判断した結果、追加資料の提出を辞退したものと考えています。</p>
<p><b>Q 5</b> 入札辞退が認められるのはどの段階までですか。</p>	<p><b>A 5</b> 入札後の辞退は、原則認めていません。ただし、総合評価方式においては、入札後、落札決定までの保留期間があるため、その保留期間に業者が他の工事を落札し、配置予定技術者を当該工事に配置できなくなった場合に限り入札後の辞退を認めています。</p>

なお、低入札調査基準価格未満の入札を行った者が追加資料の提出を辞退した場合は、入札に関する条件に違反した入札として、入札無効の取り扱いをしています。

**Q 6**

「浦添工業高校管理棟及び産振 A 棟改造防音工事（建築）」は再入札となっていますが、その経緯と結果を説明してください。

**A 6**

本工事は、19社による指名競争入札を実施しましたが、第1回目の入札で応札した8社全てが予定価格超過となったため、第2回目の入札を実施しました。

第2回目の入札では、4社が入札辞退し、4社の応札がありました。その結果、予定価格の制限の範囲内価格で最低金額を入札した業者が落札しました。

**Q 7**

「伊良部大橋関連建設環境整備工事（その4）」は再度の競争入札に付しても落札者が無く、随意契約したとのことですが、この場合の予定価格の取り扱いはどのようになっていますか。

**A 7**

この場合、指名競争入札における予定価格と同一の予定価格を設定しています。

**Q 8**

入札参加資格に係る業者間の資本的関係、人的関係の制限についてどのように定義しているのですか。

**A 8**

資本関係については、親会社と子会社の関係にある場合。親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合。

人的関係については、一方の会社の役員が他方の会社の役員を現に兼ねている場合。一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼務している場合。その他、入札の適正さが阻害されると認められる場合は同一案件への入札を制限することとしており、公告等で明記しています。

**Q 9**

具体的にどの様な場合に資本的関係又は人的関係に該当するのかがわかりにくいと思います。また、各部署が統一的な取り扱いができるよう、あらかじめ、ある程度の基準を設けておく必要があると考えます。

**A 9**

公正、公平で適正な入札の執行を確保するため、資本関係又は人的関係について、各発注機関間で統一的な取り扱いができるよう検討して参りたいと思います。